

# 「第5次多度津町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」

## ～2024年度 実施状況報告～

### 1. 基本的事項

- 計画の基準年：2013年度
- 実行計画期間：2024年度～2030年度（7年間）
- 調査対象施設：庁舎を含めた公共施設
- 計画対象温室効果ガス：CO<sub>2</sub>（二酸化炭素）
- 基準年の温室効果ガス排出量：3,239t-CO<sub>2</sub>
- 温室効果ガス削減目標：50.0%削減  
（目標削減量1,619t-CO<sub>2</sub>）

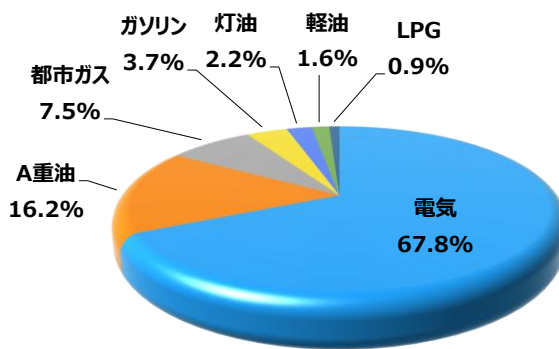
### 2. 2024年度温室効果ガス排出状況

#### (1) 温室効果ガス排出量推移及び排出源構成

- 2024年度の温室効果ガス排出量は1,643t-CO<sub>2</sub>となり、基準年比で49.3%（1,596t-CO<sub>2</sub>）減少した。
- 温室効果ガス排出源構成では、電気使用に伴う排出量が全体の67.8%を占めている。

(単位：t-CO<sub>2</sub>)

年度	温室効果ガス排出量	基準年比
2013年度 (基準年)	3,239	-
2024年度	1,643	-49.3%
目標値	1,619	-50.0%



注) 基準年比の計算は、kg-CO<sub>2</sub>単位での排出量を基に算定している。

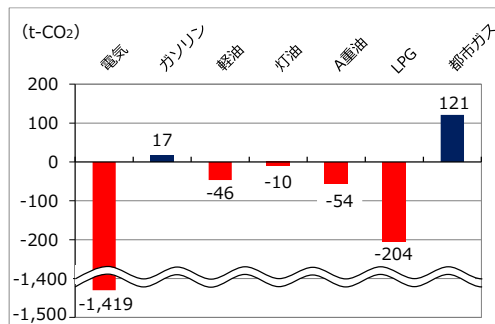
注) 構成比の合計については、端数処理の関係により100.0%にならない場合がある。

#### (2) 排出源別温室効果ガス排出量及び増減状況

- 基準年比で排出量が減少した主な要因は、多度津町再生水利用計画事業の見直しに伴い2024年度に再生水の送水を全体的に止めたことによる多度津町高度処理施設等の電気使用量の減少である。
- 都市ガスについては、2017年度に多度津小学校と豊原小学校で、2022年度に新庁舎でガスヒートポンプ式エアコンを導入したことにより、排出量が大幅に増加している。

(単位：t-CO<sub>2</sub>)

項目	2013年度 (基準年)	2024年度	基準年比 増減量	基準年比 増減率	
電気	2,533	1,114	-1,419	-56.0%	
燃料	ガソリン	43	60	17	39.3%
	軽油	72	26	-46	-64.3%
	灯油	47	37	-10	-21.8%
	A重油	321	267	-54	-16.9%
	LPG	219	15	-204	-93.1%
	都市ガス	3	124	121	4128.6%
	総排出量	3,239	1,643	-1,596	-49.3%



注) 基準年比の計算は、kg-CO<sub>2</sub>単位での排出量を基に算定している。

### 3. 温室効果ガス排出量の削減に向けて

2024年度は、主に電気使用量の減少を要因として温室効果ガス排出量が基準年比で49.3%減少した。なお、本町の排出源構成において電気使用に伴う排出が全体の67.8%を占めており、電気使用量の削減は本町の温室効果ガス排出量の削減には欠かせない要素である。今後は、職員の取組の徹底に加え、町民及び事業者に対しても排出量の削減を促進するため、下記の内容を継続的に取り組むものとする。

- デコ活を実践し、全職員による省エネ行動、環境配慮行動を徹底する。
- 各施設で空調・照明等の設備の運用・管理及び改善を図り、エネルギー効率の向上を図る。
- 再生可能エネルギーの導入を推進し、排出量の削減及び地域レジリエンスの向上を図る。
- 町民及び事業者に対して排出量の削減に関する普及啓発を行う。

・町民が利用する施設については、利用者に協力を求め、町民との協働による取組を行う。[くらしの中のエコろがけ](#)